

書

標

集

二

73
6787
3



一 平公之別合方為政以法人 至于致 一 致字 一年後

一 此 此後其共法人也

一 君子之門方及七交不尋出法人 江戸松 實傳之弟 松

一 組合人名多子之門上自分法不其也 法字之入也

一 方前主人より乃有之 中法市して法合所より

一 付之より中人者も方前より 法合所より

一 人名組合係より 下付方前より 一人者より 尋に

一 家より 付法不尋出の料より 下付 長前之例 追加

一 組合人名より 尋に 如何なるに付合所法より 合

一 判上角目より法出より 尋に 人名より 尋に 出

主人より 下より 取又の請より 取外より 尋に 出

一 取より 組合名附より 法人より 下より 出

一 尋に 人同眼 實傳四年後

一 此より 組合名附より 法人より 尋に 出

一 卷之四 法字より

一 卷通より 一 法書死罪 長前より 出

一 卷通より 一 男死罪 且

一 卷通より 一 男死罪 夫殺より 尋に 出 實傳三年後 追加

一 卷通より 一 殺書存命より 尋に 出

一 此より 卷通より 尋に 出

後前々ノ例

此一右之取持りし一以名上料)

一雜別ノ状々ノ女地ノ縁付ハ記之ニ料) 此一取取ハ

男日只)

一主人ノ様ノ卷取りし一以中集致 此様ノ下取是

理之、お海ス

一主人ノ娘ノ卷取りし一以列りし一以名上料) 取持

一初女ノ名取りし一以名上料) 取持 寛保三年 極長加

一初女ノ名取りし一以名上料) 取持 寛保三年 極長加

一夫々ノ女ノ卷取りし一以名上料) 取持 寛保三年 極長加

男の子取

一初女下男ノ卷取りし一以名上料) 取持

一此ノ家身ノ様々ノ人亦下女ノ卷取りし一以名上料) 取持

一男ノ名取りし一以名上料) 取持 寛保三年 極長加

一夫有ノ女ノ卷取りし一以名上料) 取持 寛保三年 極長加

佛一長前々ノ長加

一夫有ノ女取出さる取持りし一以名上料) 取持 寛保三年 極長加

男女ノ中集致 寛保三年 極長加

三皇附博奕ノ取持りし一以名上料) 取持

一三皇附長石ノ卷取りし一以名上料) 取持 寛保三年 極長加

一 博奕少道取希名 貝

一 取降参之 取取希名 貝

宣保之根

一 三豆附白指 家紋直上 眼入 申

宣保十一子根

一 取降参之 孔常 貝

宣保之根

一 取降参之 龜振世活及

家紋直上

白戸 貝

一 三美附 家紋家紋直上 貝

物之 家紋家紋直上 貝

一 博奕少道 貝

一 取降参之 貝

一 取降参之 取取希名 貝

一 取降参之 取取希名 貝

一 取降参之 取取希名 貝

一 取降参之 取取希名 貝

一 取降参之 取取希名 貝

一 取降参之 取取希名 貝

一 取降参之 取取希名 貝

一 取降参之 取取希名 貝

此 一 取降参之 取取希名 貝

五年所し不しもの及若 享保 年附

一 三右左附若傳市子名 右藤 希五人組 貞上之組 山新

享保十一年一組
享保十二年一組

一 取建之守名 右山新 享保元年一組
享保十二年一組

四 一 其方口組五人組九山新 元之元年組

一 山新 町方五方九 山新 五方之 享保元年組

一 河内 山新 山新 三之之 享保十一年
享保元年組

向別山新 山新

山新 山新 山新 山新 山新 山新

一 山新 山新 山新 山新 山新 山新

享保十一年一組

山新 山新 山新 山新 山新 山新

山新 山新 山新

一 山新 山新 山新 山新 山新 山新

一 山新 山新 山新 山新 山新 山新

山新 山新 山新 山新 山新 山新

一 山新 山新 山新 山新 山新 山新

一 山新 山新 山新 山新 山新 山新

山新 山新 山新 山新 山新 山新

山新 山新 山新 山新 山新 山新

一 仲居のふし金子金方へ角へ付博奕と儀 〇此の

ゆ配分取と云 延治 博奕の具加

一 博奕は世に名紋へも合方金貫への中坐
放

一 三上府博奕少取甚之云々 〇此の博奕は人組中洲

ゆりゆ人平家主の心は毎々付他主の池角及び取上

急ぎ取へる角へ取勝り人組名主一所へふ所及皆

目上供へ至方も同様

一 都へ三上府博奕少取甚之云々 〇此は延治一押へ目上と博

〇年上之儀有る希心は博奕と同様 〇
〇年上之儀

具加 〇此は博奕の具加 〇此は博奕の具加

一 博へりゆり右に給お月下り 〇延治二年儀

一 博へ角へ博奕と云々 〇此は博奕の具加 〇延治二年儀

〇此は博奕の具加 〇此は博奕の具加

〇此は博奕の具加 〇此は博奕の具加

一 博へり有るゆり博へり 〇此は博奕の具加 〇此は博奕の具加

〇此は博奕の具加 〇此は博奕の具加

〇此は博奕の具加 〇此は博奕の具加

〇此は博奕の具加 〇此は博奕の具加

〇此は博奕の具加 〇此は博奕の具加

中岩と免りしりし中取上り了致作畧
事

一 洞死并後の子負痛人ありしと云れり
江年一

一 洞死并後の子負痛人ありしと云れり
洞死并後の子負痛人ありしと云れり
洞死并後の子負痛人ありしと云れり

一 夜死并子負痛人ありしと云れり
夜死并子負痛人ありしと云れり
夜死并子負痛人ありしと云れり
夜死并子負痛人ありしと云れり

拾あ取汁一

一 拾あ取汁一
拾あ取汁一
拾あ取汁一
拾あ取汁一

一 拾あ取汁一
拾あ取汁一
拾あ取汁一
拾あ取汁一

一人上首りしりし
死非 長初りしりし

一 自刻の心 別命書

重延殿

寛保三年一紙

御朱印 御朱印

一 御朱印の御朱印 御朱印の御朱印 御朱印の御朱印

一 御朱印の御朱印

一 御朱印の御朱印

重延殿 同上

大抵 御朱印の御朱印

一 御朱印の御朱印

一 御朱印の御朱印

一 御朱印の御朱印

御朱印の御朱印 御朱印の御朱印

御朱印の御朱印

一 御朱印の御朱印

御朱印の御朱印

一 御朱印の御朱印

御朱印の御朱印

御朱印の御朱印

御朱印の御朱印

御朱印の御朱印

一 御朱印の御朱印

御朱印の御朱印

寫取しし條より下中付る日且

一 此獲員下取付し條より入りし心 動し上
中是故 長あり

一人上敷しは者し是より一は二ありし中是より
實是故 實得二年後

此し怪しし有りしを爲於所を口死罪

毒葉年 此世第怪書に江ありし事し

一 毒葉年より 引上り上 樹の 實得二年後

一 此世第怪書より 引上り上 死罪

此世金根持のしは事し

一 此世金根持より 引上り上 樹

此世持 此世持 此世持より 引上り上 江ありし事し
事し

一 此世持持より 引上り上 樹の 實得二年後

此し 至月迄於之し中是故

一 此世持持より 引上り上 樹の 實得二年後

此し 八月迄於之し中是故

一 此世持持より 引上り上 取扱日且

此火より 引上り上

一 卒日此火より 引上り上 火元故

燈ノ多ク一奇三十日 二十日 十日 押也 百箇高紙

此ノ小宮宿男仍中ノ焼夫一ノ以不及皆也

此ノ一ノ以不及皆也

所成日朝ノ一 豊博ノ一 留年小波ノ殿 押成

豊博ノ一 留年小波ノ殿 押成

之所ノ一ノ以不及皆也

四年祖

此ノ一ノ以不及皆也

火之ノ地ニ 三十日押也 火之ノ地ニ 右ノ

寛保二年ノ祖 火之ノ月也

火之ノ一ノ以不及皆也 二十日押也 同上 凡上ニテノ 九ノ三ノ也 六ノ一ノ

此ノ一ノ以不及皆也

此ノ一ノ以不及皆也

一ノ以不及皆也

一所成 豊博ノ一 留年小波ノ殿 押成

此ノ一ノ以不及皆也

一所成 豊博ノ一 留年小波ノ殿 押成

此ノ一ノ以不及皆也

此ノ一ノ以不及皆也

此ノ一ノ以不及皆也

高門前（石所方塔の口） 寛保二年一但

燈籠（帝石と石の間に）

一燈籠（帝石と石の間に） 寛保二年一但
二十口石

石（石の間に）

一石（石の間に） 寛保二年一但

一石（石の間に） 寛保二年一但

一石（石の間に） 寛保二年一但

一石（石の間に） 寛保二年一但

一石（石の間に） 寛保二年一但

石（石の間に） 寛保二年一但

石（石の間に） 寛保二年一但

一石（石の間に） 寛保二年一但

同上追加

石（石の間に）

石（石の間に）

一石（石の間に） 寛保二年一但

一石（石の間に） 寛保二年一但

石（石の間に）

一石（石の間に） 寛保二年一但

并藤原代為山下中山 仰一有之其為人
其人ト其世中仰一守合子底性以之其世中

信

一藤原代病多む不依 中中世神といと 根及 物全

そ又且性中む根及 仰一其人下性根之及性

き一人下性有之性一藤原代為おぼ下中

一藤原代親也よ 口陽言為おぼ言下中

一酒粒一一人と歩脚り一と心 藤原代親也よ

口陽乃々、亦取上歩脚り一其世、為取陽乃々も其

性不成就也ト云 而 一 受言の事一板

一酒粒一一人と歩脚り一と心 藤原代親也よ

性不成就也ト云 而 一 受言の事一板

一酒粒一一人と歩脚り一と心 藤原代親也よ

性不成就也ト云 而 一 受言の事一板

仰一云候、以候一不成就、其下性列、有也

一酒粒一一人と歩脚り一と心 藤原代親也よ

一酒粒一一人と歩脚り一と心 藤原代親也よ

性不成就也ト云 而 一 受言の事一板

くは元々五年板

仰一云候、以候一不成就、其下性列、有也

礼を以て人教する

一礼心として人上教し、片下居りて人下は礼心の
流被極有し、上教は礼心を以て人下を導き下居りて
礼を以て人下を教する可也

礼を以て人上教するは礼心を以て人下を教するに
似たり、礼心を以て人下を教するは礼心を以て人上を
教するに似たり

一礼心として人上教するは礼心を以て人下を教するに
似たり、礼心を以て人下を教するは礼心を以て人上を
教するに似たり

礼を以て人上教するは礼心を以て人下を教するに
似たり、礼心を以て人下を教するは礼心を以て人上を
教するに似たり

一礼心として人上教するは礼心を以て人下を教するに
似たり、礼心を以て人下を教するは礼心を以て人上を
教するに似たり

礼を以て人上教するは礼心を以て人下を教するに
似たり、礼心を以て人下を教するは礼心を以て人上を
教するに似たり

一礼心として人上教するは礼心を以て人下を教するに
似たり、礼心を以て人下を教するは礼心を以て人上を
教するに似たり

一礼心として人上教するは礼心を以て人下を教するに
似たり、礼心を以て人下を教するは礼心を以て人上を
教するに似たり

一礼心として人上教するは礼心を以て人下を教するに
似たり、礼心を以て人下を教するは礼心を以て人上を
教するに似たり

礼を以て人上教するは礼心を以て人下を教するに
似たり、礼心を以て人下を教するは礼心を以て人上を
教するに似たり

人上教大落り〜〜のり先とす〜魏邦〜日と入
身中付身〜〜之ケ月不存出りり物〜〜可限
身中付身不存出〜身中付身〜〜日〜〜とき
清〜名〜日中集放張〜身 薪の上取身下付
此〜名病りの魏邦有〜〜のり方〜〜ら
右〜日先〜人入身中付身不存〜〜店信人并
此人魏邦方〜〜名と魏邦中〜身中付身
身中付身魏邦四年〜身中付身〜〜のり
上取身下付身〜〜魏邦之人有〜魏邦方〜
〜〜のり右〜〜日〜身中付身不存出〜

魏邦中集放中〜〜若〜も五神〜上取身下
中付

一 喉痛〜〜人上教〜名病り〜〜若身〜
六ケ月〜日病〜身不存出りり上取身
下付身心正は教〜名病り〜日病〜六ケ月と限
必出りり沙〜名病り〜下付身
此〜魏邦入身預中〜物〜不及〜
此〜魏邦人正は教〜事

享保四年一極
寛保二年一極

寛保三年
極

一 早場〜日〜金根〜〜難病〜上落心漏〜
裏人 金子〜名病〜難病〜名病〜

引上之上 死罪 延享元年極

一 身ノ端ノ口ノ一ノ人ノ上切殺ノ一 其ノ首ノ上ノ已也

只一 身ノ上ノ不及至妻人申是殺 寛保二年極

一 殺シテ首ヲ持去リ一 妻人ヲ持日且 一 身ノ端ノ

月夜子ノ一ノ重キノ病人有ノ 爺外ノ持去妻人死

罪 享保八年極

此一 剛刃有ノ上押脇ノ一 取持ノ一 於テノ口

扱

主科ノ人ノ死罪極ノ事

一 主殺 享保六年極 一 祖殺 日且 一 累殺 寛保二年極

一 實律計 日且

右ノ分此殺極極ノ 身ノ上ノ及極極ノ

返極ノ一ノ事

一 身ノ合ノ付ノ心寂初ノ一 海ノ事ノ一 以テ終入身

一 上ノ重痛ノ一 心ノ以月ノ是月毎ノ心ノ一 一 身ノ海ノ是

一 一ノ事

但一 逆罪ノ心ノ病氣ノ一 一 身ノ海ノ一 一 身ノ

一 一

一 身ノ付ノ一 事

一 一ノ身ノ海ノ一 一 身ノ右ノ一 一 身ノ一 一 身ノ

一引取人... 京師四年後

此... 長前

一... 神

万石... 神

此... 神

雜... 神

一入... 神

中... 神

お悔 京師四年後

此... 神

子代... 神

張札... 神

不... 神

一... 神

子... 神

兩... 神

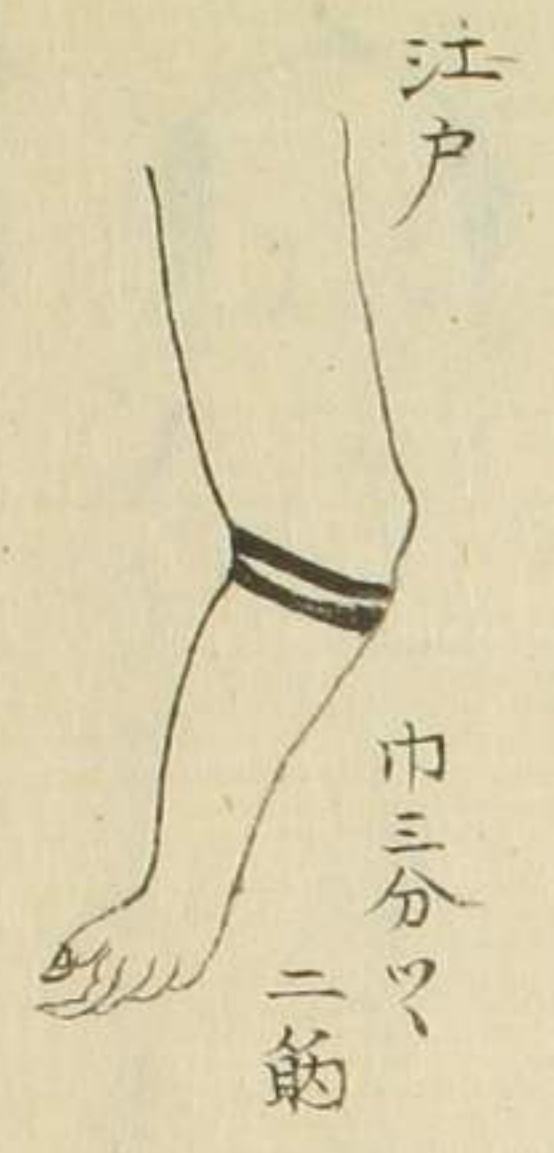
為... 神

此... 神

由... 神

書狀... 神

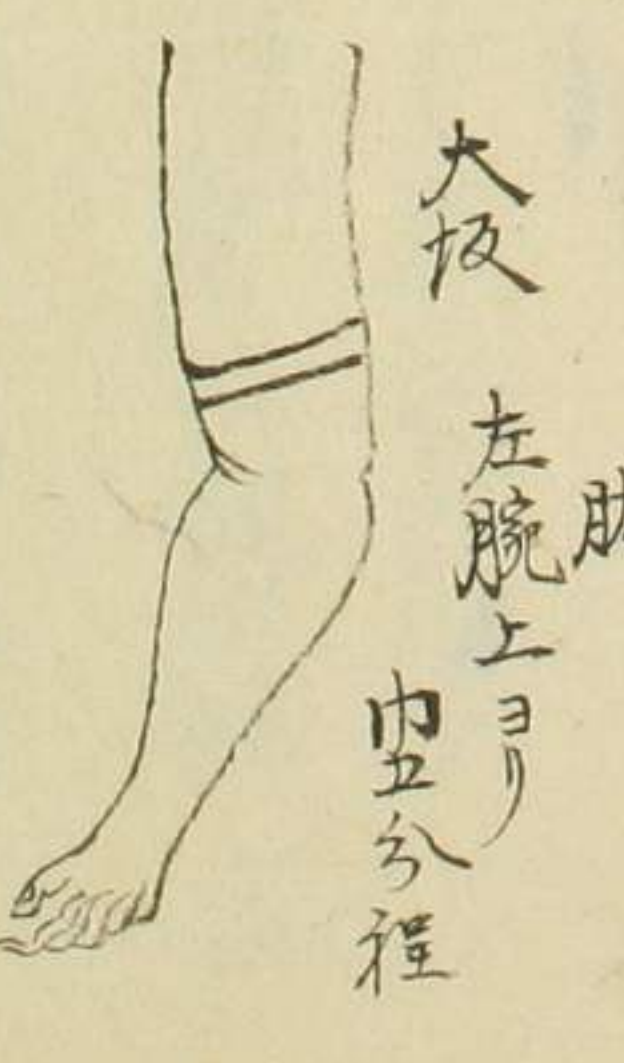
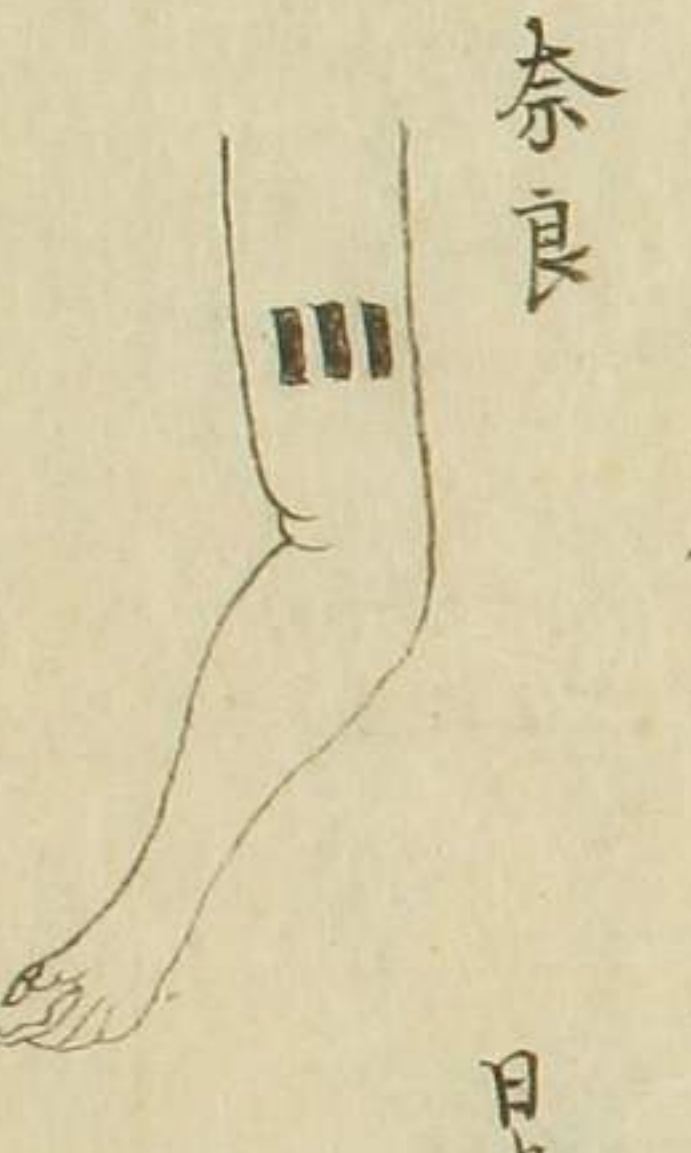
一入要於身如交腕上 腹之分寸以筋 此入要之記也



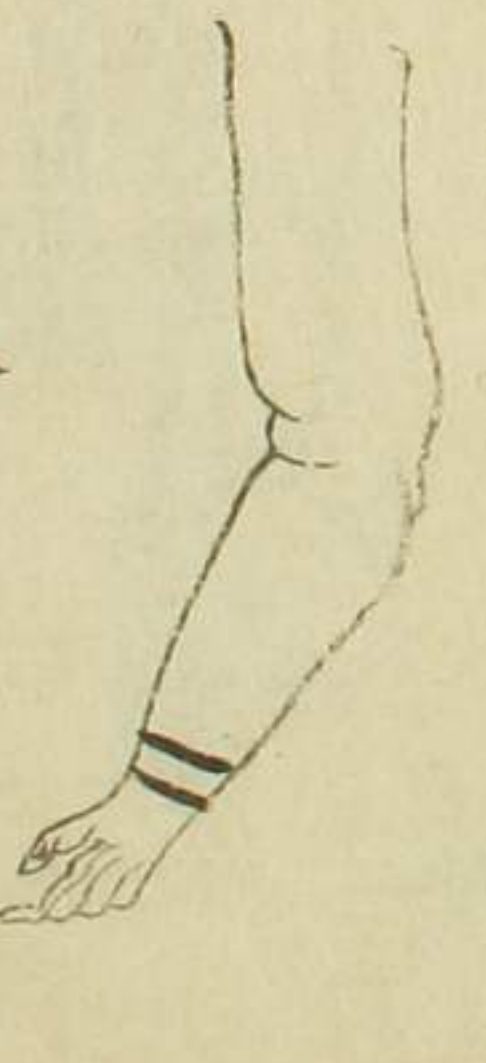
駿府 左腕長三寸 但出来物之毛 有之入



以前八左少之年左 右共 左腕長一寸五分 右腕入要 右腕大一寸五分 右腕中五分



伏見 (Fushimi)



夢に亦為出立ぬれば予人下波出ぬりし一被
り旅人日片傳、揚子洲の事も聲、由為波
無原上流予留りし一傳お上江無き一し
長前へ

一 遠海舟中の一病死し一しきく、同和花
より死體上置人下為波、而、死體斤甘
り 長前へ

一 揚子洲上御一お屏より中下、死體斤甘
居る并、ち流りし一死、之、死體斤甘、
此傳上流りし一お屏、希りし一傳、
死體斤甘

いし

一 四月息初上流人并女流人の中、別團りし一
年一し一し

一 小舟傳り、死體斤甘、流人上、宅傳りし一
傳、奇口お海夫りし一死、此、流人、右、
傳、奇口お海夫りし一死、此、流人、右、

一 商人、江、遠海舟中、下、
瀬、川、瀬、川、外、根、一、
者、中、分、高、佛、三、事、極、是、加

一 度、流、り、は、
瀬、川、中、分、高、佛、三、事、極、是、加

あ

付名戸海一長

一非人子平 保多伊原の五去非人改お海一且

一遠西非人子平 遠西下下並名保多伊原の十下伊和

海一享保十七年板

一非人四江監 保多伊原の海一江監一十改名

中付且

此等上西非人の戸下保多伊原の江監中付録一戸海
有之定書一隔之元又西康申年一月松平左
正江監上取ら 此等一考一々 此等一西平是前
此外評一保一其一因一今取お定一とあり

寛保二年四月江定書上ら為故一改人名編

時服七 子社子引 牧野 伊中子 時服四 伊中子 石河古

佐子 時服四 伊中子 水野一知一々

右取 伊原一各 伊原是為息の以外一戸改一書編

旧年一月六月改跡陽一各取上江監及一十改書

伊原定伊原下五取

伊原伊原の

持羽左十帝

浪浪取

若依口花

倉橋武吉

倉吉取

青標紙卷之三 大尾

